

AFACT 運営会議報告

2015年6月15日～6月18日

テヘラン（イラン）

報告者：SIPS 業務執行理事 菅又 久直

I. 会議日程：

6月15日（月） 東京発 ドバイ経由 テヘラン着
6月15日（月） AFACT 運営委員会準備会
6月16日（火） AFACT 技術手法委員会（TMC）会議/AFACT 運営委員会（StC）会議
6月17日（水） AFACT 技術手法委員会（TMC）会議/AFACT 運営委員会（StC）会議
6月17日（水） テヘラン発 ドバイ着
6月18日（木） ドバイ発 東京着

II. 会議参加の目的：

アジア各国で協力して、効率的で相互運用性のあるグローバルサプライチェーンのための情報基盤を構築することを目指して、アジア各国の代表と技術的・手続的課題を審議するためにAFACT会議（運営委員会および技術・手法委員会）に参加した。

☆ AFACT（アジア太平洋貿易手続簡易化と電子ビジネス促進センター）：国連 CEFAC が開発した貿易円滑化と電子ビジネスに関する国際標準等の普及を図るために、国連 CEFAC アジア地区ラポーターと連携して活動する非営利の団体で、現在アジアの 19 カ国・経済圏が参加している。

なお、今回の会議は、イラン商務省・電子商取引開発センター（eCommerce Developing Center）が会議を運営した。

III. AFACT 会議総括：

AFACT は、1 年毎に異なるメンバー国が議長国となり、運営委員会と総会の 2 回のイベントを主催する。2015 年はイランが議長国（2010 年：日本、2011 年：台湾、2012 年：イラン、2013 年：ベトナム、2014 年：タイ）で、今回の運営委員会および総会（11 月末）がテヘランで予定されている。

今回の会議には、日本（小生を含め、3 名）、韓国、台湾、タイ、イラン、インドの 6 カ国、約 30 名が参加した。

小生（SIPS 業務執行理事：菅又久直）は、技術手法委員会（TMC）の委員長の立場で、準備会、運営委員会（StC）および TMC/CSC 合同会議に参加した。

IV. AFACT 運営委員会準備会

今回は、各委員会・WG が合同で共通のテーマを議論するため、本会議の前日に半日の準備会議を行った。

主な議論は次の通り。

- (1) AFACT WEB ページについて
 - ・知的所有権 (IPR) についての考え方を検討すべきである。
 - ・AFACT 公開情報とは別に委員会・WG メンバー内で情報交換できるサイトが必要。
- (2) 新技術への取組みについて
 - ・新技術への取組み戦略につき技術手法委員会にて戦略案を検討する。
- (3) 委員会・WG の再編の必要性について
 - ・BDC, TMC, CSC の当初の役割と現状の WG 体制にずれがあり、今後運営委員会にて組織再編につき検討を始めるべきである。
- (4) 電話会議について
 - ・7 月より月例の会議とする。

毎月 第 1 月曜日 15:00-16:00 (日本時間)

V. AFACT 技術手法 (TMC) 委員会&コミュニティ支援委員会合同会議:

TMC/CSC 合同会議には、5 カ国 (台湾、インド、イラン、日本、タイ) から 9 名が参加し、国連 CEFACT 技術動向、アジア地域 CCL (Core Component Library) 利用促進、クラウドコンピューティング相互運用性、および準備会でテーマとなった新技術にかかわる AFACT 戦略につき審議を行った。

→参加者リスト: 添付資料 (1) 参照

(1) 国連 CEFACT 技術動向

本年 4 月の国連 CEFACT フォーラムにて議論になった技術テーマにつき、小生が説明を行った。カバーしたテーマは次の通り。

- ① 手法・技術 PDA のドメイン体制
 - ・スペシフィケーション/ドメイン
 - ・シンタックス/ドメイン
 - ・ライブラリ保守管理ドメイン
 - ・品質評価ドメイン
- ② コア構成要素技術仕様 (CCTS) について
 - ・現在、CCTS V2.01 と V3.0 の二つの仕様があり、当初は V3.0 へ移行することが期待されていた。しかしながら、V3.0 対応のライブラリは試行の段階から進まず、圧倒的に V2.01 対応ライブラリが使われ、また保守管理が継続されているこ

とから、今後国連 CEFAC T で開発するライブラリおよびスキーマは V2.01 に統一することとした。

- ③ コンフォーマンスプロジェクト第一段階終了。
 - ・コンフォーマンスと相互運用性に関わる要件文書が策定され、第 1 段階は終了。
 - ・次の段階として 2 つのプロジェクトが提案された。
 - ー 現状の標準仕様のすべてについて、コンフォーマンス定義文を見直す。
 - ー 国連 CEFAC T 標準を使っているソフトウェア、サービス、外部標準等のコンフォーマンス定義文のレジストリを設置する。
- ④ ライブラリ評価アンケートの集計
 - ・ライブラリ評価プロジェクトが行ったアンケートでは、5 年後の 2020 年においても、現状ライブラリ (CC, BIE, BDA, Data Type, EDIFAC T Message, XML Schema) は国連 CEFAC T が管理し出版すべきとの回答が圧倒的であった。
 - ・なお、外部で策定された国連 CEFAC T 技術仕様準拠の CC/BIE や BDA の国連 CEFAC T ライブラリ連携については更に議論が必要。
- ⑤ コア構成要素ライブラリ (CCL) 最新状況
 - ・CCL15A → CC:7258, BIE:10695, uDT:20, qDT:160
- ⑥ 国連 CEFAC T における新技術対応戦略について
 - ・対応すべき新技術として考慮すべきもの：クラウドコンピューティング、モバイル、API&APP、インタフェース（プル型通信）、グリッドコンピューティングなど。
 - ・新技術はユーザドリブンであるべき。ただしポテンシャルのある新技術について、ユーザに理解してもらう必要がある。

(2) TMC プロジェクト進捗報告

- ① 日本における CCL (Core Component Library) 利用促進

小生より、SIPS が進める業界横断データ辞書およびメッセージ辞書についての登録簿モデル (Registry Data Model) とドメイン辞書開発状況について紹介した。

 - ・次の分野における領域メッセージの開発を検討中
 - ー航空機部品製造業界
 - ー中小自動車部品製造業界 (カンバン方式)
- ② 台湾における中国語対応 CCL の紹介 (台湾 Eva 氏)
 - ・各国における国連 CEFAC T CCL の自国語対応版整備を勧告した。
 - ・台湾版の CCL につき、UNID および中国語ビジネスターム、コンテキストを追加することを提案した。
- ③ クラウドコンピューティング WG

台湾の Kao 氏よりクラウドコンピューティング WG の進捗報告が行われた。

- ・ CAKE (Cloud Appliance Kernel Environment)
- ・ クラウドへの移行
- ・ OVF (Open Virtualization Format)
- ・ タイとの共同実証実験 (タイムスタンプ・サーバ)

(3) TMC/CSC 合同プロジェクト

① 越境 eInvoice 実証実験

- ・ 台湾の提案で、食品トレーサビリティのための越境 eInvoice 実証実験がタイとの間で行われることになった。
- ・ インボイスには、B2B Invoice、Tax Invoice、Customs Invoice がある。今回の実証では Customs Invoice を B2B でも使える内容に張して行う予定。
- ・ 標準としては、国連 CEFACT 標準と ISO20022 を合体して使いたい意向 (Remittance Advice 拡張と同様の考え方)。
- ・ 進捗は、未だ両国での仕様ネゴの段階。

② 国連 CEFACT 拡張支払通知プロジェクト

- ・ 本プロジェクトは、日本、タイ、イタリアの支持のもと、国連 CEFACT 正式プロジェクトとして開始された。
- ・ 本年 9 月までに BRS を完成し、CCL 登録申請を行う予定。

(4) 新技術対応戦略

準備会で提起された、AFACT の新技術対応戦略のたたき台を策定すべく、フリーディスカッションを行った。フリーディスカッションでは、次の課題につき多数の意見が出され、1 カ月以内に TMC 議長 (小生) が最初の新技術対応戦略案をまとめることとなった。

- ・ 何故、AFACT で新技術につき検討しなければならないのか。
- ・ どの程度先の将来を見越すのか。
- ・ 対応すべき新技術の条件
- ・ どのような新技術を対象とするか。
- ・ なぜ新技術を必要とするのか。
- ・ どのように新技術を導入すべきか。

➔ Discussion on New Technologies : 添付資料 (2) 参照

添付資料（１）：TMC/CSC 出席者リスト

AFACT TMC & CSC Joint meeting Participant List				
Tehran, Iran 16th-17th, June, 2015				
	Name	Country/Economy	Organization	e-Mail
1	Hisanao Sugamata	Japan	SIPS, TMC Chair	hsedi0111@gmail.com
2	Eva Yueh	Chinese Taipei	III	yvyueh@iii.org.tw
3	Chia Hung Kao	Chinese Taipei	III	chkao@iii.org.tw
4	Anil Kymar Sinha	India	Ministry of Commerce and Industry	anilksinha@nic.in
5	Fatemeh Taj	Iran	IcECDc	fatemeh.taj@gmail.com
6	Ferdas Hatami	Iran	Iran Center for ecommerce development	ferdas.hatami@gmail.com
7	Noppadon Vannaprapa	Thailand	ETDA	noppadon@etda.or.th
8	Thawatchai Pringprom	Thailand	ETDA	thawatchai@etda.or.th
9	Mei Li Chen	Chinese Taipei	III	mlc45@iii.org.tw

Discussion on the new technology

Why do we consider the new technology?

What time span should we consider?

1. (Current? 3years? 5years? 10years?)

The new technology should:

1. Be based on the certain business requirement?
2. Answer the customer needs, such as Big data analysis.
3. Be proved by POC?
4. Not be locked in a vendor?
5. Produce the deliverables in 2 years?
6. Harmonize and Utilize current technologies / libraries?

What are new technologies?

1. Not covered by UN/CEFACT Standards
2. The new trend
3. More process oriented technology
4. Overcome the simple data exchange
5. Fundamental change

Why do you need the new technology?

1. Improve the current business using the new technology.
2. Create the new business opportunity
3. Easier standard implementation in SME and Emerging countries
4. What benefit to implement EDI. EDI is not enough.
5. What benefit to migrate to XML → used by various application flexibly?

What kind of technologies?

1. Semantic related
2. If semantics of data is standardized, it will be easier to analyze Big data.
3. Data cleansing Big data from deferent sources.
4. ICT Technologies
5. Cloud computing is the base for several new technologies. (IOT, Big data, etc)

6. Cloud computing is the platform. Do we need some middle layer standards?
7. Desktop as a service. (Including Security mechanism)
8. ICT to Digital economy (Big data, IOT, open data).
9. Migrating to Cloud has some general principles and considerations what the domain specific technical needs are. Those principles and considerations should be addressed in the guidelines.
10. Disasters / recovery for Big data. ➔ also cloud computing.
11. Security for big data on cloud

How to deploy the new technology?

1. Migration to the new technology is the key,
2. Virtual migration rather than physical migration. (Semantics for cloud computing?)
3. Evaluation of the new technologies by POC.
4. Prototype and guidelines for the new technologies.
5. How to use is more important.
6. Resource requirement for the new technology (such as cloud computing)

The TMC chair will prepare the initial draft of the AFACT strategy on the new technologies within one month. And circulate it to TMC/CSC members for comments.